

# CLUSTERPRO

## MC RootDiskMonitor 1.1

### for Windows

#### FAQ 集

© 2013(Sep) NEC Corporation

- 導入に関する質問
- 運用に関する質問
- 動作環境に関する質問

## 改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2013.3.29	新規作成
2.0	2013.9.30	OverAction と DiskStallAction の値変更 (ActionNone → ServiceCmdDisable、ProcessOfRdmstatKillEnable → ServiceCmdEnable) を記載、 Windows Server 2012 対応

## はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 1.1 for Windows（以後 RootDiskMonitor と記載します）の FAQ について記載したものです。

- (1) 本書の文中で、特に指定がなければ「RootDiskMonitor」は「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 1.0 for Windows 以降のバージョン」を示すものとします。
- (2) 本書の文中で赤字の部分は、設定や手順を行う際に注意していただきたい箇所となります。
- (3) 商標および登録商標
  - ✓ Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
  - ✓ Windows Server 2003 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating System です。
  - ✓ Windows Server 2008 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 です。
  - ✓ Windows Server 2012 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2012 です。
  - ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
  - ✓ なお、本書では®、TM マークを明記していません。

## 目次

1. はじめに .....	1
2. 導入に関する質問 .....	2
3. 運用に関する質問 .....	4
4. 動作環境に関する質問 .....	5

## 1. はじめに

本書での表記規則について、下記のように定義します。

記号表記	使用方法	例
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル 名の前後	「ユーザーズガイド」の「I/O パスの監視手順につい て」の章の「I/O パスの死活監視」をご覧ください。
【】	ファイル名およびフォルダ名の 前後	【インストールフォルダ】¥HA¥RootDiskMonitor

## 2. 導入に関する質問

Q1.	RootDiskMonitor をインストール後、IP アドレス・ホスト名が変更となった場合、何か処置が必要でしょうか？
A1.	RootDiskMonitor は IP アドレス・ホスト名を参照していませんので、これらの変更があっても影響はありません。 設定ファイルの再作成や再起動、再インストールなどの処置は不要です。

Q2.	サーバの起動・終了時に RootDiskMonitor を起動・終了する場合、何か設定が必要でしょうか？
A2.	RootDiskMonitor サービスから起動・終了を制御するため、特別な設定は不要です。

Q3.	内蔵ディスクの障害が発生してからこの障害を検出するまでの時間と関連するパラメータについて教えてください。							
A3.	<p>障害検出に関連するパラメータは以下です。</p> <table border="1"><tr><td>TimeDiskFault</td></tr><tr><td>監視リソースを異常と判定する時間を指定します。 デフォルト 60 秒で障害を検出します。</td></tr></table> <p>* デフォルトの検出時間を短縮した場合、復旧可能な間欠故障も異常とみなす場合があります。デフォルト値でご利用ください。</p> <p>OS ディスク全体の障害状態が TimeDiskFault 時間続くと、障害が発生したとみなします。障害が発生してから、障害検出を行うまでの時間は以下となります。</p> <table border="1"><tr><td>TestI/O 発行間隔(5 秒) (TimeTestIOInterval)</td><td>+</td><td>障害検出時間(60 秒) (TimeDiskFault)</td><td>=</td><td>約 65 秒</td></tr></table> <p>* TestI/O 発行間隔があるため最大で 65 秒かかる場合があります。</p> <p>詳細は「ユーザーズガイド」の「I/O パスの監視手順について」の章の「I/O パスの死活監視」をご覧ください。</p>	TimeDiskFault	監視リソースを異常と判定する時間を指定します。 デフォルト 60 秒で障害を検出します。	TestI/O 発行間隔(5 秒) (TimeTestIOInterval)	+	障害検出時間(60 秒) (TimeDiskFault)	=	約 65 秒
TimeDiskFault								
監視リソースを異常と判定する時間を指定します。 デフォルト 60 秒で障害を検出します。								
TestI/O 発行間隔(5 秒) (TimeTestIOInterval)	+	障害検出時間(60 秒) (TimeDiskFault)	=	約 65 秒				

Q4.	DiskStallAction とは、何を設定する値でしょうか？				
A4.	<p>DiskStallAction とは、内蔵ディスクに対する I/O の応答が、TimeDiskStall 時間内に帰ってこないような無応答障害 (I/O ストール) を検出したときのアクションを指定する値です。以下のアクションを実行します。</p> <table border="1" data-bbox="343 477 1441 734"> <tr> <td data-bbox="343 477 722 607">ServiceCmdDisable (デフォルト)</td> <td data-bbox="722 477 1441 607">アクションは実行しません。 I/O ストールを検出すると、イベントログにメッセージを出力します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 607 722 734">ServiceCmdEnable</td> <td data-bbox="722 607 1441 734">I/O ストールを検出すると、Rdmstat.exe が停止します。 CLUSTERPRO にて Rdmstat.exe を監視しておくことで消滅を検知し、ノードを切り替えます。</td> </tr> </table> <p>詳細は「ユーザーズガイド」の「設定ファイルの設定」→「設定ファイルの記述」の章をご覧ください。</p>	ServiceCmdDisable (デフォルト)	アクションは実行しません。 I/O ストールを検出すると、イベントログにメッセージを出力します。	ServiceCmdEnable	I/O ストールを検出すると、Rdmstat.exe が停止します。 CLUSTERPRO にて Rdmstat.exe を監視しておくことで消滅を検知し、ノードを切り替えます。
ServiceCmdDisable (デフォルト)	アクションは実行しません。 I/O ストールを検出すると、イベントログにメッセージを出力します。				
ServiceCmdEnable	I/O ストールを検出すると、Rdmstat.exe が停止します。 CLUSTERPRO にて Rdmstat.exe を監視しておくことで消滅を検知し、ノードを切り替えます。				

### 3. 運用に関する質問

Q1.	Rdmdadmin コマンド実行時に、monitor status が FALSE になっています。 これはどういう意味でしょうか？
A1.	RootDiskMonitor が内蔵ディスク監視を一時的に停止している状態です。 監視を再開したい場合は、以下のコマンドを実行してください。  1. 監視の再開 # Rdmdadmin -c start  2. 監視状態の確認 # Rdmdadmin -c status  * monitor status が TRUE になっていることを確認してください。
Q2.	イベントログに出力されるメッセージの対処方法が分かりません。
A2.	詳細は製品媒体に含まれている「イベントログメッセージ一覧」をご覧ください。 または、以下の URL よりご覧になれます。 <a href="http://jpn.nec.com/clusterpro/mc_ha/download.html#hsg">http://jpn.nec.com/clusterpro/mc_ha/download.html#hsg</a>
Q3.	RootDiskMonitor のバージョンアップ時にクラスタを停止する必要がありますか？ クラスタを停止せずバージョンアップする方法があれば教えてください。
A3.	クラスタを停止せずに RootDiskMonitor のバージョンアップを行うと、クラスタの モニタリソースが異常を検知し、フェイルオーバが開始されてしまいますので、 必ず、クラスタを停止してから、RootDiskMonitor のバージョンアップを行うようにしてくだ さい。



## 4. 動作環境に関する質問

Q1.	RootDiskMonitor のディスク使用量はどれくらいですか？						
A1.	<p>RootDiskMonitor は、【インストールフォルダ】¥HA¥RootDiskMonitor 配下を使用します。使用量は以下のとおりです。</p> <table border="1"><thead><tr><th>マウントポイント</th><th>説明</th><th>サイズ</th></tr></thead><tbody><tr><td>【インストールフォルダ】 ¥HA¥RootDiskMonitor 配下</td><td>設定ファイル、 トレースファイル</td><td>20MB 以上</td></tr></tbody></table> <p>トレースファイルはサイクリックとなっていますので、ディスク容量を圧迫することはありません。</p> <p>詳細は、「リリースメモ」の「必要容量」の章を参照してください。</p>	マウントポイント	説明	サイズ	【インストールフォルダ】 ¥HA¥RootDiskMonitor 配下	設定ファイル、 トレースファイル	20MB 以上
マウントポイント	説明	サイズ					
【インストールフォルダ】 ¥HA¥RootDiskMonitor 配下	設定ファイル、 トレースファイル	20MB 以上					
Q2.	RootDiskMonitor は、一時ファイルを作成しますか？						
A2.	RootDiskMonitor は、一時ファイルの作成を行いません。						

CLUSTERPRO  
MC RootDiskMonitor 1.1 for Windows  
FAQ 集

2013 年 9 月 第 2 版  
日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目7番地1号  
TEL (03) 3454-1111 (代表)



© NEC Corporation 2013

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。  
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙